



図 3-3 チエテ川上流域下水集水渠建設計画

(5) ビ湖流域の給水事情

ビ湖を上水道の水源としている地域は海岸山脈の自然保護区にあることから観光・レクリエーションの地という地理的環境に加え、非正規住宅の造成による人口増加、商業活動の活発化等の要因により、水需要の大幅な増加が見込まれている。

現在SABESPでは、ビ湖のリオ・グランデ取水場とタクァセツバ(Taquacetuba)取水場でそれぞれ4.7m³/s、4.0m³/s 取水している。リオ・グランデ浄水場とグアラピランガ湖浄水場からの給水の裨益都市と裨益人口は次のとおりである。

1) リオ・グランデ浄水場の裨益都市、裨益人口 (SABESP)

裨益都市	裨益人口
サン・ベルナルド・ド・カンポ市	579,000人
サン・カエタノ市	122,000人
サント・アンドレ市	125,000人
マウア市	230,000人
サンパウロ市	568,000人
計	1,624,000人

SBC市の上記裨益人口以外の住民は、SABESPが管理している井戸から給水され、リオ・グランデ浄水場の南部地区、ビ湖南岸地区は地下水を利用している。

なお、分湖の上流部に位置するリベイロンピレス市とリオグランデセーラ市はスサノ浄水場から給水している。